

議会だより

題字は、泉小学校 6年生 滝田響太郎さんの作品です。

発行：土岐市議会 編集：議会だより編集委員会 TEL0572-54-1111 FAX0572-54-8971 E-mail：gikai@city.toki.lg.jp



中馬街道は、江戸時代から明治時代にかけて人や荷物の往来が絶えなかった信州飯田から尾州名古屋へ通じる商業道路です。

Contents

- 第4回定例会報告…………… 2～3 ページ
- 委員会報告…………… 4～7 ページ
- 一般質問…………… 8～11 ページ
- 編集後記…………… 12 ページ



濃南地区に伝えられてきた「中馬馬子唄」が保存会によって唄い継がれています。

令和4年第4回定例会報告

第4回定例会には、予算関係1件、条例関係3件、その他の案件15件の合計19件が市長から上程されました。今定例会に上程されました案件は、各常任委員会に付託され、9月12日から9月15日に審査し、本会議において、原案のとおり可決しました。

議案番号	議案名	議案の主な内容
議第47号	令和4年度土岐市一般会計補正予算（第6号）	補正額 270,609,000円
議第48号	土岐市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	法律の一部改正に伴い、職員の育児休業の取得要件を緩和するため、所要の改正をするもの。
議第49号	土岐市地方活力向上地域における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例の一部を改正する条例について	省令の一部改正に伴い、固定資産税の課税免除及び不均一課税の適用期限を延長等するため、当該条例を改正するもの。
議第50号	土岐市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律の施行に伴う固定資産税の特例に関する条例の一部を改正する条例について	省令の一部改正に伴い、固定資産税の課税免除の適用要件を改めるため、当該条例を改正するもの。
議第51号	市道路線の廃止について	市内道路網の再編成を図るため、市道の路線を廃止しようとするもの。
議第52号	市道路線の認定について	市内道路網の整備を図るため、市道の路線を認定しようとするもの。
議第53号	土岐市教育委員会委員の任命同意について	土岐市教育委員会委員に加藤幸代氏を任命したいので、議会の同意を求めるもの。
議第54号	土岐市公平委員会委員の選任同意について	土岐市公平委員会委員に水野健一氏を再任したいので、議会の同意を求めるもの。
議第55号	専決処分の報告及び承認について 専第11号 令和4年度土岐市一般会計補正予算（第5号）	土木費について、年度内に完了しない見込みから事業費を翌年度に繰り越すもの。
議第56号	令和3年度土岐市一般会計決算の認定について	歳入 25,923,117,854円 歳出 24,636,139,934円
議第57号	令和3年度土岐市国民健康保険特別会計決算の認定について	歳入 5,599,758,843円 歳出 5,464,150,500円
議第58号	令和3年度土岐市駐車場事業特別会計決算の認定について	歳入 55,953,548円 歳出 47,014,303円
議第59号	令和3年度土岐市介護保険特別会計決算の認定について	歳入 6,083,264,750円 歳出 5,868,135,003円
議第60号	令和3年度土岐市・瑞浪市介護認定審査会特別会計決算の認定について	歳入 32,624,038円 歳出 32,624,038円
議第61号	令和3年度土岐市・瑞浪市障害者総合支援認定審査会特別会計決算の認定について	歳入 4,584,939円 歳出 4,584,939円
議第62号	令和3年度土岐市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	歳入 848,071,298円 歳出 829,559,543円
議第63号	令和3年度土岐市病院事業会計決算の認定について	事業収益 761,785,713円 事業費用 951,707,647円 資本的収入 446,399,552円 資本的支出 444,318,552円
議第64号	令和3年度土岐市水道事業会計決算の認定について	事業収益 1,909,720,540円 事業費用 1,628,380,412円 資本的収入 190,675,570円 資本的支出 874,085,673円
議第65号	令和3年度土岐市下水道事業会計決算の認定について	事業収益 1,736,417,683円 事業費用 1,636,239,572円 資本的収入 306,213,435円 資本的支出 956,588,771円

本会議での採決状況及び結果につきましては、下記のとおりです。

○：賛成 ×：反対 ー：欠席

議案番号	議決結果	後藤正樹	安藤学	小関篤司	水石玲子	水野哲男	各務和彦	和田悦子	北谷峰二	鈴木正義	山田正和	後藤久男	加藤淳一	加藤辰亥	楓博元	杉浦司美	高井由美子	小栗恒雄	西尾隆久
議第47号	可決	○	○	○	○		○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○
議第48号	可決	○	○	○	○		○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○
議第49号	可決	○	○	○	○		○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○
議第50号	可決	○	○	○	○		○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○
議第51号	可決	○	○	○	○		○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○
議第52号	可決	○	○	○	○		○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○
議第53号	同意	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第54号	同意	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第55号	承認	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第56号	認定	○	○	×	○		○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	×	○
議第57号	認定	○	○	×	○	長	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○
議第58号	認定	○	○	○	○		○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○
議第59号	認定	○	○	×	○		○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○
議第60号	認定	○	○	○	○		○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○
議第61号	認定	○	○	○	○		○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○
議第62号	認定	○	○	○	○		○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○
議第53号	認定	○	○	○	○		○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○
議第64号	認定	○	○	○	○		○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○
議第65号	認定	○	○	○	○		○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○

委員会報告(文教厚生委員会)

令和4年度土岐市一般会計補正予算(第6号)(所管部分)

- 質疑** 寄附を受けた金塊の売払収入について、金の価格が上昇している中、売払い時期は妥当であったのか。
- 答弁** 寄附者から奨学基金に活用してほしいという意向があり、スケジュールを組み、早めに現金化した。
- 質疑** コンビニ交付システム導入事業について、証明書の交付時間に制限はあるのか。
- 答弁** 毎日朝6時30分から夜11時まで交付する予定である。
- 質疑** 情報漏洩、セキュリティに問題はないのか。
- 答弁** 専用の通信ネットワークの利用、証明データの偽造防止処理等の対策を行う。
- 質疑** 給食食材の価格高騰による不足分の給食費への補てんについて、来年度以降も検討しているのか。
- 答弁** 物価額の推移が不透明であり、現在検討中である。

土岐市地方活力向上地域における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例の一部を改正する条例について

- 質疑** これまでの固定資産税の課税免除の実績は。
- 答弁** 現時点で実績はない。

令和3年度土岐市一般会計決算の認定について(所管部分)

- 質疑** 総務費の空家等除去支援事業補助金について、実際の倒壊危険空家に対して補助件数が少ないように思われるがどのように分析しているのか。
- 答弁** 過去の調査からも補助要件に当てはまる危険空家はそれ程多くないが、今後もホームページ等で周知に努める。
- 質疑** コロナの影響により収入が激減された方に対する徴収猶予の件数は。
- 答弁** 167件である。
- 質疑** 住民票等コロナ関連の証明手数料の減免件数と金額は。
- 答弁** 1,129件、減免額は33万8,900円である。
- 質疑** 民生費の生活困窮者自立相談支援事業について、相談件数の状況は。
- 答弁** 令和2年度228件、令和3年度79件と減少傾向である。
- 質疑** 保育園等で会計年度任用職員が担任を受け持つ状況は改善されているのか。
- 答弁** 若干名、会計年度任用職員が担任を受け持っており、継続して保育士確保に努めている。
- 質疑** 児童館へのハイブリット空気清浄機の設置について、どこの児童館に設置したのか。
- 答弁** 全児童館5館に設置した。
- 質疑** 衛生費の医師確保奨学資金等貸付事業について、対象者は何名か。
- 答弁** 支給対象者は12名である。
- 質疑** 産後ケア事業について、利用者がいなかった理由は。
- 答弁** コロナの影響もあり、宿泊を要する相談がなかったためである。
- 質疑** 教育費の通学路防犯カメラ設置事業について、土岐津、泉中学校区に設置しているが、設置箇所はどのように選定しているのか。
- 答弁** 学校長、学校運営協議会会長を交え、学校で設置箇所の選定を行った。
- 質疑** いじめ・不登校対策事業の小中学校教育相談員の配置状況は。
- 答弁** 各小学校1名ずつ、14名の相談員を配置している。
- 質疑** 学力向上推進委員会をコロナの影響によりオンラインで実施したとのことであるが、どのように評価しているのか。
- 答弁** 各校の実践発表について、タイムリーな意見交換が難しいことから参集型の方がよりメリットがある。

質疑 放課後教室の利用状況は。

答弁 登録者数は、令和2年度から260人減少しているが、利用者は35%増となっている。

討論 会計年度任用職員に保育園等の担任を受け持たせている状況があり正規職員に転換すべきである。一病院化については、市民の不安もあり見直しが必要であり、この決算に反対する。

令和3年度土岐市国民健康保険特別会計決算の認定について

質疑 1人当たりの保険料の推移は。

答弁 令和2年度が96,423円、令和3年度が93,215円である。

質疑 収納率の向上に積極的に努めているが、差し押さえ件数は何件か。

答弁 97件である。

質疑 基金を積み増して、かなりの残高になってきているが、その分で保険料を引き下げることができなかったのか。

答弁 県の保険料水準の統一化で、保険料が急激に上昇する場合等を想定する必要がある。令和4年度では基金を繰り入れ保険料の抑制に努めている。

討論 基金を積み増しているが、コロナの影響を考慮し、その年度の保険料抑制に充てるべきであり、この決算に反対する。



令和3年度土岐市介護保険特別会計決算の認定について

質疑 保険給付費の予算残が生じた主な要因は。

答弁 コロナの影響による利用控え及び地域密着型特別養護老人ホームの入所者が見込みより少なかったのが主な要因である。

質疑 介護給付費準備基金積立金を積み増しているが、基金を活用して保険料を抑制することはできないのか。

答弁 第8期介護保険事業計画において基金の繰り入れを勘案した上で3年間の保険料を設定している。基金が増加していることについては次期計画において活用を検討したい。

討論 保険給付費は横ばいで基金は大幅に増加している。基金の活用を含め保険料を抑制すべきでありこの決算に反対する。



令和3年度土岐市後期高齢者医療特別会計決算の認定について

質疑 さわやか口腔健診について、受診者が倍増した要因は。

答弁 令和3年度から瑞浪市、恵那市でも受診できるようにした。また、未受診者への受診勧奨を行い、医療機関に協力要請した。



令和3年度土岐市病院事業会計決算の認定について

質疑 入院・外来患者数の減をどのように分析しているのか。

答弁 コロナの影響及び一部診療科で常勤医師が退職したことが主な要因である。

質疑 老人保健施設やすらぎの入所者の減をどのように分析しているのか。

答弁 職員の確保が難しい状況で、療養体制を縮小していることが主な要因である。

質疑 駄知診療所の診療体制はどのようになっているのか。

答弁 令和3年度途中から医師の退職により、診療日が週3回、午前のみとなっている。



委員会報告（総務産業建水委員会）

令和4年度土岐市一般会計補正予算（第6号）所管部分

- 質疑** 過誤納還付金が1億3,000万円ほどあるが、その内訳は。
- 答弁** コロナ関連補助金の返還金が1億円程度、その他生活保護の負担金の返還金等である。
- 質疑** 電気、ガス料金の高騰によるセラミックパーク MINO の負担金は、148万6,000円の増額であるが、他自治体の負担額はどの位か。
- 答弁** 負担額は持ち分割合で、岐阜県が503万円、多治見市が792万円、瑞浪市が88万円程度である。

市道路線の廃止について

- 質疑** 市道82364号線を廃止する理由は。
- 答弁** 土岐多治見北部連絡道路の新設により、新たに認定した市道と重複するため廃止するもの。

令和3年度土岐市一般会計決算の認定について（所管部分）

- 質疑** 総務費の広報とき配布業務について、何件の町内会に配布しているのか。
- 答弁** 250町内会に配布している。
- 質疑** 緊急情報、市政情報の LINE、メールでの発信について、登録者は何人か。
- 答弁** 令和4年3月の登録者は7,047人である。
- 質疑** ポストコロナ社会実験調査研究事業について、どのような調査を行ったのか。
- 答弁** テレワーク環境の評価、事業展開に向け、市民、名古屋近郊の企業・事業所等へアンケート調査を行いニーズを把握した。
- 質疑** 定住促進奨励金について、主にどこから転入されているのか。
- 答弁** 瑞浪市15件、多治見市13件など岐阜県内から47件。愛知県から24件などとなっている。
- 質疑** 共助のまちづくり補助金について、どのような活動に対して補助をしたのか。
- 答弁** 町内の憩いの場としてバス停跡地に植栽やベンチを設置した事業に補助をした。
- 質疑** 労働費の勤労者住宅資金融資原資について、利用促進の取り組みは。
- 答弁** 利率を店頭表示価格から0.1パーセント下げる等の措置を取り、利用促進を図っている。
- 質疑** 農林水産業費の多面的機能支払交付金事業補助金について、鶴里、曾木、肥田地区以外で補助対象者はいないのか。
- 答弁** 農振農用地でまとまった農地が確保できる地域が対象となり、組織の設立が必要となるため限定される。
- 質疑** 商工費の工場用地開発可能性調査の調査結果は。
- 答弁** 環境センター隣接地について調査し、事業費はかかるが工場用地の適地として可能性があるという調査結果となった。



質疑 美濃焼のうつわを楽しむ暮らし事業について、すり鉢セットを新生児何人に贈呈したのか。

答弁 すり鉢、離乳食レシピ、陶育の絵本をセットとし、299人の新生児へ贈呈した。

質疑 土岐プレミアム・アウトレット線試験運行の利用状況は。

答弁 10月から3月までの土日祝日に運行し、利用者は延べ3,005人であった。

質疑 陶磁器試験場の原子吸光分析装置の更新による効果は。

答弁 年間4,000件を超える依頼があり、安定して滞ることなく試験を実施することができた。

質疑 観光パンフレット「土岐ぶらキュン」は、どのような内容となっているのか。

答弁 QRコードを付け観光施設を紹介する動画をリンクしたパンフレットである。

質疑 土木費の妻木南部土地区画整理事業について、進捗率はどの位か。

答弁 令和3年度末で工事費ベース81.9パーセントである。

質疑 公園施設長寿命化計画に基づいた改修工事は何件行ったのか。

答弁 西公園、津路公園、上田公園等7箇所の改修工事を行った。

質疑 健康遊具の設置について、何箇所の公園に設置したのか。

答弁 総合公園に、サーキット形式の健康遊具を6基、その他5公園に3基ずつ設置した。

質疑 消防費の救急救命士就業前研修について、救急救命士の救急車への搭乗率は何パーセントか。

答弁 当直勤務で救急車に搭乗している確実勤務者は19人で、搭乗率は99.6パーセントである。

質疑 災害時の食料、飲料水の備蓄について、何人分の備蓄をしているのか。

答弁 県が発表している南海トラフ地震の土岐市の避難者数は5,510人で、発災から2日間、6食分の3万3,060食を備蓄している。

質疑 ブロック塀等撤去事業補助金について、19件の補助実績であるが、まだ危険箇所は残っているのか。

答弁 通学路を中心に調査をしているが、まだ多くの危険箇所が残っている。

討論 令和4年度からは交付を受けていないが、電源立地地域対策交付金を市職員の人件費に充てることは、不適切であるため、この決算に反対する。

討論 電源立地地域対策交付金は使途基準に基づき適正に執行されており、この決算に賛成する。

令和3年度土岐市水道事業会計決算の認定について

質疑 有収率が85.36パーセントであることについてどのように考えているか。

答弁 漏水対策を実施しているが上昇率は0.03パーセントと微増である。今後も有収率を高めるよう努めていきたい。

質疑 水道管の耐震化率は何パーセントか。

答弁 36.5パーセントである。



令和3年度土岐市下水道事業会計決算の認定について

質疑 有収率が公共下水道68.11パーセント、農業集落排水は29.22パーセントであることについてどのように考えているのか。

答弁 かなりの量の不明水が管に入ってきている。老朽管の更生を進め、有収率を高めるよう努めていきたい。

一般質問

9月議会では7名の議員が市政に対して、一般質問を行いました。
議会だよりでは、一般質問の要旨を各議員の文責において掲載しております。
土岐市ホームページでは、インターネットによる議会映像の配信や定例会・臨時会の会議録を掲載しています。ぜひアクセスして詳細をご覧ください。



●一般質問へのアクセス方法

視聴の場合	土岐市ホームページ ⇒ 市議会 ⇒
どちらかの方法	議会ライブ中継 ⇒ 議会の日程から選ぶ ⇒ 一般質問
	⇒ 視聴したい日にち ⇒
	議会ライブ中継 ⇒ 議員の名前から選ぶ ⇒ 日時を選ぶ
文書の場合	土岐市ホームページ ⇒ 市議会 ⇒
	議会会議録検索 ⇒ 会議録検索システムへ

《第4回定例会一般質問》

●印は議員の意見・提案

- ◆アイフレイル対策について
●問 現状と今後の取り組みは。
●答 毎年10月10日の目の愛護デーに合わせ広報で年1回、目の検診の啓発。今後は、ホームページなどで周知。
- 問 アイフレイルのチェックリストをホームページ、広報での周知は。
●答 目の健康に関心を持てるよう、ホームページに掲載し、健康教育の場で活用していく。
- ◆投票率向上への取り組みについて
●問 自宅から投票所まで遠い方の距離は。
●答 1番の遠方は、鶴里公民館まで4.7キロ。次に泉西公民館まで4.2キロ。次に河合公民館まで4.1キロ。次に泉公民館まで4キロ。曾木公民館まで3.5キロ。
- 問 投票所への移動支援の考えは。
●答 実施予定はないが、有権者の声や他市の動向に注視し考えていく。
- 問 投票所の人員配置について。
●答 公職選挙法及び施行令による規定がある。投票管理者1名、職務代理者1名、立会人2名以上5名以下。土岐市は2名の配置。受付1名、名



● 水石 玲子 ●



中学生サミット

- ◆主権者教育について
●問 新学習指導要領で、令和2年より小学校、令和3年より中学校で主権者教育が実施されているが、現状と今後の在り方はどのようなか。
●答 小6の社会科では、政治の仕組みや選挙権について、中3の公民で選挙の意義や仕組み、課題や政治参加を学び、CHANNELの資料を活用し、選挙を身近に考える工夫をした。
- 問 夏休みに家族で議場見学は。
●答 中学生サミットが来年度で一回りする。議場見学については、関係部局と協議していく。
- 問 移動期日前投票所設置の見解は。
●答 現在設置は考えていないが、今後、投票所の統合、削減を検討することになれば調査、研究をする。
- 問 簿対照1名、投票用紙交付1名、庶務1名、合計8名の設置。



● 小栗 恒雄 ●

◆旧統一教会関連団体の共催「ピースロード」への後援の経緯について

問 世界平和統一家庭連合（旧統一教会）の関連団体が共催するピースロードを土岐市は後援していますが、どのような依頼があり、どのような経緯があり後援に至ったのか、審査の基準等についてお答えください。

答 ピースロード岐阜実行委員長名で申請されており、社会的に問題がある団体の関連団体と認識できる情報はなく、その時点で社会的に問題がある関連団体との認識はなかった。土岐市後援名義の使用許可に関する要綱で、特に政治活動及び宗教活動に係わりがない事、営利を目的としない事を要件とし審査しています。

問 市政が旧統一教会や関連団体と関係を持つことについて、市長のお考えをお聞かせください。

答（市長） 今後は、旧統一教会や関連団体との関係を持つことは無いと思います。やはり後援名義の許可を出す際の審査のほうもしっかりとやっています。

◆共助まちづくり補助金について

問 土岐市は現在、共助まちづくり補助金を町内会に助成して見えます。共助まちづくり補助金は、コミュニティの推進事業、町内会加入促進事業、協力連携事業、それと合併事業を対象に補助金を助成しています。新しく良い制度を作っても昨年度の助成実績は一件だけあります。

答 町内会に限定することなく、できたら区とか連合区とかそういうところまで上げるように、ぜひ検討をお願いします。ご答弁をお願いします。

問 せっかくの制度でございまして、広く利用していただきたいという考えもあります。今、議員がおっしゃったように、区のほう、区のレベルでもというような意見もございまして、参考にながら、今後活用していただきやすいような形で作っていききたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

◆区長への活動謝礼金支給について

問 多治見市では年間12万円の区長活動謝礼金が支給されています。土岐市の導入についてお答えください。

答 地域社会の発展及び市政の円滑かつ効率的運営を図るために、区長には各町を代表していただき、行政事務全般に対してご協力をお願いしていますので、他市の状況を踏まえ必要性について検討してまいりたい。

【第4回定例会一般質問】

●印は議員の意見・提案



● 西尾 隆久 ●

問 市長就任後約3年半を振り返って

答 職員時代と比べ、責任の大きさを痛感しながらも、全力で市政に取り組んできたという自負はございます。就任して以来、多くの時間を新型コロナウイルス感染症対策に費やさなければならなく、人々の行動様式や価値観の変化、デジタル技術の飛躍的な進展など、市政を取り巻く環境の変化はとても速く大きくなっており、その中であって、公約に掲げた、愛着の持てるまちづくり、地域を支えるひとづくり、地域住民の生きがいづくりの3本の柱に基づき、持続可能な土岐市に向けた仕組みづくりをおおむね順調に取り組むことができたのではないかと考えています。

問 次期市長選挙についての考えは

答 コロナ禍はいまだ終息しておらず、変革の時代であるからこそ愛着と誇りを持てるまちづくりをみんなで楽しくつくるため、多様な意見を多くの人と共有して生きていく必要があります。引き続き市政を担っていききたいと思っています。

問 イオンモール開業のTOKIMINOYAKIについての内容は

答 ウイズコロナ、アフターコロナにおける新たなビジネスの可能性を探り、販売拡大を目指すもので、主な事業内容は、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた新たな販売方法等の実証実験、若手クリエイターがチャレンジする場を提供する事業、土岐市ふるさと納税の推進を図る事業、美濃焼の価値の向上と認知度アップを図る事業、土岐市の美濃焼や観光のPR事業、道の駅もとてらす東美濃、土岐プレミアムアウトレットなどとの連携により、市内への集客を図る事業の店舗であり、株式会社スチームシップに運営を委託した。

問 医療費の高校生までの無料化について、どれだけの財源が必要になるのか

答 現時点において制度を高校生まで拡大したときの入院外来診療費の合計の負担額の増はおおむね4,100万円となり、慎重に考えていかなければと思います。引き続き検討課題とさせていただきます。

問 市長会を通して県への要望を出す考えは

答 要望の声が各市とも出てくるようであれば、足並みをそろえ要望していかなければと思っています。



● 後藤 正樹 ●

◆胃がん対策としてピロリ菌検査事業を実施することについて

問 胃がん検診の受診率が低い現状を踏まえ、検診に代わる或いは検診を補完する胃がん対策の有効な手だてを検討すべきではないか。「胃がんリスク検診（ABC検診）」の導入について、執行部の見解を伺いたい。

答 令和3年度、県内で5つの市町がABC検診を実施し、8つの市町はピロリ菌検査のみを実施している。既に導入している自治体の実施方法や実績、国の動向などを注視して、関係機関の意見を聞きながら、導入方法について探っていききたい。

問 胃がん予防を目的として中学生を対象にピロリ菌検査を導入することについて、執行部の見解を伺いたい。

答 県内では岐南町が導入し、全国的にも導入する自治体が増えつつある。国の動向や県内の他自治体の状況をもう少し注視しながら、対象年齢や検査方法等について探っていききたい。

● 胃がん検診の受診率向上のためのこれまでの地道な取り組みを続ける

ことに加えて、近年の医学的知見に基づいた、新たな胃がん対策の慎重にして十分な検討をお願いしたい。

◆地域の分娩環境の確保について

問 昨年12月以降、土岐・瑞浪両市に分娩取扱施設が一つもない状況となった。地域の分娩環境確保の必要性について、市長の見解を伺いたい。

答 市内で出産できる場所を望む声は大きいと捉えており、市民が安心して産み育てられる環境づくりに努めることは、責務であると考えている。

問 現在、土岐・瑞浪両市で構成する東濃中部病院事務組合による新病院建設計画が進んでいる。産科開設の実現可能性について、土岐市立総合病院の産科再開に関するこれまでの経緯や苦い経験も踏まえた土岐市長としての加藤市長の答弁を頂きたい。

答 複数の産婦人科医の確保に加え、小児科医等の確保も図る必要があることから、大学医局など関係機関に対して、瑞浪市と力を合わせながら精力的に医師派遣の要請をしている。土岐市長として開設の実現に向けた努力をしっかりとさせていただく。

● 土岐市民や未来の土岐市民のために、15年間、土岐市になかった産科を土岐市に新たにできる病院に開設する。それを実現するため、土岐市としてできることに、最大限の力を尽くしていただきたい。

《第4回定例会一般質問》

●印は議員の意見・提案



● 加藤 辰亥 ●

問 土岐市の水稻の収穫量の推移は。

答 東海農政局が発表しているデータを基に紹介します。平成24年では、作付面積が128ヘクタール、655トンの収穫量でございました。平成27年は作付面積123ヘクタール、収穫量610トン、令和元年は101ヘクタールの499トン、昨年は作付面積が97ヘクタールで、収穫量は476トンという推移です。

問 岐阜県の農業再生協議会の主食用米の市町村別生産目標はどのように定めているのか。

答 米は主要な食料であり、主食としての役割を果たしていることから、米の需要と供給及び価格の安定を図るために、毎年、米の生産目標が計画的に定められています。具体的には、国からの今後の米の需給見通しなどの情報を踏まえ、県が直近の生産数量実績を参照して各市町村のシェアを算出し、県全体の生産指標に対して各市町村のシェアで案分することにより決定されています。

問 令和2年の生産目標は571.7

18トン、令和4年の生産目標は535.964トンと減少しているが、その原因は。

答 目標値が減少している原因は、人口減や高齢化、食や生活様式の多様化の進展などが原因となり、米に対する需要が減ってきていることから、それに合わせて生産目標も減少しているものと考えられます。

問 目標値と実際の収穫量とは違いがあるがその理由は。

答 目標値と実際の収穫量の違いの理由は、米の需要が下がっている中で価格が下落しないように、目標値は最大の収穫量を設定していますので、災害や天候の状況、あるいは離農などにより、目標値よりも実際の収穫量は低くなる傾向があるのではないかと考えています。

問 なぜ耕作地が減少しているのか。

答 耕作地の減少の要因は、耕作放棄地、遊休農地、荒廃農地、農地転用などの増加が原因と考えています。耕作放棄地と遊休農地、荒廃農地は統計上は同じくくりになっており、令和元年が19ヘクタール、令和2年が21ヘクタール、令和3年が24ヘクタールです。農地転用は令和元年が88件で561アール、令和2年が63件で380アール、令和3年が70件で353アールです。



● 小関 篤司 ●

◆ 新型コロナウイルスの第7波の影響と医療提供体制について

問 コロナワクチンの接種状況は。

答 9月5日時点で、1回目接種率は90.4%、2回目は90.1%、3回目は72.9%、4回目接種は63.9%です。今後は5回目接種を地元医師会などの協力を頂き、実施したいと考えています。

問 夏休み明け、学校再開での対応は。

答 休み明けは学級閉鎖の基準の変更、部活動の感染対策を徹底すること、現在、コロナ陽性で学校を欠席になった生徒の中には、タブレットを持ち帰り、授業の様子を自宅で見られるようになっていきます。

問 第7波による救急体制は。

答 7月は300件出動、昨年比で76件増の1.3倍。8月は311件、昨年比1.11件増の1.6倍で、7月から急増しており、月間の救急件数は過去最多です。搬送先が決定するまでの照会回数も増加し、現場での滞在時間が延びる傾向です。

問 消防職員体制の考えは。

答（市長） 7、8月の救急件数が非常に多く、大変厳しい状況が続きました。職員定数は短期的な要因もあるが、検討材料になると思います。

問 第7波の看護体制の状況はどうか。

答 入院患者や医療従事者への感染の広がりで、十分な人員配置が出来ない状態が続き、医療提供体制への負荷が長期化している状況。土岐市立総合病院も看護配置を調整しながら体制維持に努めています。

問 医療従事者へ現給保障の継続、特別手当など感謝の意を示しては。

答（市長） 病院運営は指定管理でお任せしているところ。献身的に医療に従事して頂いている方に対するお礼の気持ちは表さないといけないと思います。確保対策事業は公務員から民間に移行する経過措置の対応と理解いただき、使命感をもって働いてもらって非常に感謝しています。

◆ 物価上昇対策による水道料金の引き下げについて

問 水道料金引き下げの考えは。

答（市長） 引き下げの観点では、土岐市は県水を購入していますので、値段を下げてもらえば、負荷が下がります。現に知事に要望したこともあります。支援の観点では、土岐市は物価上昇対策として振興券第2弾を決定しました。限られた資源のなかで、ご理解頂きたいと思います。

《第4回定例会一般質問》

● 印は議員の意見・提案



● 高井由美子 ●

◆ 市民が安心して暮らせるために

問 商業施設の開業に伴う地域の交通渋滞について、市としてどのように想定してみえるか、お伺いします。

答 多治見市及び西方面から52.5%、1000台弱、瑞浪市及び東方面から29.9%、549台、南方面から18.3%、345台を予測。

国交省、岐阜県、中日本開発株式会社、イオンモール株式会社、多治見市でイオンモール土岐の開業に伴う交通渋滞対策に取り組んでいる。

問 住民説明会でのご意見で、買い物客の皆さんに高速道路で帰ってもらう方法として、その日限りの高速道路割引特典を付与できないか。

答 制度的に割引制度が現実的に可能であれば要望していきたいが、少し検討課題として捉えたい。

問 公共施設の男性トイレの個室にサニタリーボックスの設置について。

答 市役所12か所、セラトピア土岐1か所、バーデンパーク曾木4か所、土岐市駅1か所に設置。

問 病気により必要としている方向け

にサニタリーボックスを設置しているとの表示の考えは。

答 適切な表示方法を研究する。他の公共施設への設置は課題とする。

◆ 災害に備えて

問 災害弱者の命を守る個別避難計画作成に向けた現状を伺います。

答 居住区域の状況や災害の危険度など優先度の高い要支援者を把握する作業を年内に完了させたい。

問 マンホールトイレ設置について。

答 危機管理室と上下水道課で先進地を調査研究として、恵那市、多治見市を視察。

問 土岐市の設置に向けての今後の考えを伺います。

答 令和8年度までに市内の広域避難所の小・中学校7か所の体育館周辺に設置予定。今年度はマンホールトイレの設計、令和5年度から令和8年度に設置工事を予定している。



マンホールトイレ整備・運用のためのガイドラインより



濃南小学校のみなさんが 議場を見学しました。



写真提供：濃南小学校

＜お詫び＞2022年8月15日の「土岐市議会だより」№79の紙面中、濃南小学校の児童の皆さんが議場見学をされた様子を紹介させていただきましたが、誤って「鶴里小学校」と記載してしまいました。改めて写真の掲載をさせていただくとともに、訂正させていただきます。

編集後記

イオンモール土岐がオープンし、土岐プレミアムアウトレットモールと共に多方面から人が集まり大変賑やかになってまいりました。新型コロナウイルス感染症拡大により、市内で小売業、飲食業を営む方々には大変厳しい状況がまだまだ続いております。他県市町村からこのイオンモールに訪れた方々がイオンモールやアウトレットモールでの買い物で終わらず、窯元めぐりなど市内を周遊して頂ければ小売業、飲食業界の活気が戻るのではと思います。

なお、先号の議会だよりで、濃南小学校の議場見学の写真表記に間違いがありましたこととお詫びいたします。（文責：北谷峰二）

議会だより編集委員会

委員長：小栗恒雄 副委員長：安藤 学
委員：西尾隆久 加藤淳一 山田正和 北谷峰二
和田悦子 水石玲子

次回12月定例会（予定）※午前9時開会予定（変更の場合あり）	
11月30日（水）	本会議 初日（議案提案説明）
12月12日（月）	本会議 2日目（質疑・委員会付託・一般質問）
12月13日（火）	本会議 3日目（一般質問）
12月14日（水）	本会議 4日目（一般質問）
12月15日（木）	文教厚生委員会
12月16日（金）	総務産業建水委員会
12月23日（金）	本会議 最終日（委員長報告 質疑 討論 採決）

土岐市議会だよりは、持続可能な世界を目指す国際目標「SDGs」への取り組みとして、適切に管理されたFSC®認証林からの原材料および再生資源から作られています。